

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	グリーンヒルキッズ ゆりのき台			
○保護者評価実施期間	令和7年2月15日 ～ 令和7年3月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数)	31名
○従業者評価実施期間	令和7年2月15日 ～ 令和7年3月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月30日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・学習支援	・子どもの特性に合った学習教材を提供し、意欲関心を高める支援を行っている ・児童指導員に教員経験のある職員が多いので、わかりやすい教科指導が行え、子どもも保護者も満足している	・特性によって能力差があり、個々に応じた支援体制を構築する。視力トレーニング・構音指導等も対象児童に行えるようにする
2	・社会性の向上	・新しい環境が苦手な子ども達への支援・コミュニケーション力の向上・人のかかわり方(距離感)・危険認知力など自立に向けたプログラムを作成しテ取り組んでいる	・SSTを通して人との良いかかわり方を学ぶ機会を作る ・学童との交流・高齢者施設との交流など地域との交流を通して社会性を身につける取り組みを行う
3	・家族支援	・保護者のメンタルサポートが大きな比重を占めている ・子どもの悩み事や保護者の悩み事に寄り添い24時間対応をしている ・必要に応じて関係機関との調整を行い、保護者の精神的な負担を軽減している	・学校・行政等の連携をさらに強化して支援を行うが、相談電話がかかる時間が夜に集中するので、勤務外労働が増え事業所職員が疲弊してしまうことあり ・見過ごすことができない家族への支援体制を検討する必要ありと思われる

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・学習支援	・小学校高学年・中学生への学習支援ができる職員の養成 ・学年層が広いので、指導領域が多様になり指導も個別のため職員数の増員が必要となる	・学習に集中できる環境作りを設定する ・個別指導に対応できる職員を増員する ・教材・教具の種類を増やして、子どもの興味関心の幅を広げる ・職員の研修時間の確保をする
2	・社会性の向上	・相手と目を合わせ、明るい表情で挨拶ができるような場面を増やしたい ・地域との交流を増やしたいが、平日は放課後で時間が取れない ・相手の気持ちがわかり、自分の言葉で気持ちを伝えることができる社会性を身につける	・他者との交わりの機会を増やすプログラムを、長期休業日に組み込みたい ・コミュニケーション力を身につけるよう、SSTを取り入れて人との関係を構築するプログラムを作成する。
3	・家族支援	・個々の相談に応じることができる職員が限られている ・相談が営業時間外の時の支援への対応	・県の行政機関や八千代市の福祉機関を利用することを促し保護者の着持ちに寄り添えるように支援する